



## 2023 年度千葉県生協連政策検討会を開催しました！

政策検討会は、会員生協が次年度の活動方針を考えるうえで必要と思われるテーマを設定し開催しています。今年度は10月19日(木)に、松戸市役所の大和 望さんとパルシステム千葉の木村友秀さんを講師にお願いし「地域共生社会」をテーマに、国が進める「重層的支援体制整備事業」と松戸市の「多世代まるごと居場所づくり」(「まつど DE つながるステーション」)の事例を学びました。5 会員生協他 49 人が参加しました。(文責：事務局)

### 開会挨拶 千葉県生協連 首藤英里子会長理事

今、ウクライナ侵攻やガザ紛争、また物価高騰や気候変動など、様々な問題がある中、今回は「地域共生社会」をテーマに取り上げました。次年度の活動だけでなく、「協同組合のアイデンティティに関する ICA 声明」の「第7原則 地域社会への関与」の検証への参考にもしていただければと思います。



### 報告 1. 地域共生社会の実現に向けた動向と松戸市における取組

報告 松戸市総合政策部地域共生課 主査 大和 望さん

#### ◆「地域共生社会」の実現のポイントは、「縦割り」の関係や「支え手」「受け手」という関係、「世代や分野」などを超えて、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく事です。

- ・これまでは事業のメインは行政がお金やサービスを渡すことだったのですが、「地域共生社会」の理念や概念から、人と人との関係を事業のメインにしているところが大きな違いといえます。



#### ◆「重層的支援体制整備事業」は、「地域共生社会」を構築するための手段です。

- ・対象者は「地域住民、全員」です。誰にたいしても隙間なく対応できるように一体的に交付金が渡されます。誰もが相談できる包括的な相談支援・顔の見える関係、地域づくりに向けた支援・そのためのつなぐ形の参加支援、の3つの支援を入れて、自治体が自分たちにあった形にデザインする事業です。
- ・行政だけでなく、生協のような地域の団体などにもかかわっていただいて、市町村全体で支援体制をつくる必要があります。3つの支援が重なり合っているところが、この事業の重要なポイントです。

#### ◆「多世代まるごと居場所づくり」は、松戸市独自の施策です。

- ・初めに、松戸市内15圏域(地区・町内会自治会連合会や地区社協の区割り)で国のモデル事業「地域づくりフォーラム」を開催し、住民の方々に「可能な限り地域の課題は自分たちで解決しよう」という意識を持っていただきました。
- ・その後、3年前に重層的体制整備事業として参加支援事業「多世代まるごと居場所づくり」を始め、その中で「まつど DE つながるステーション」を創設しました。

- ・「居場所づくり全体会議」で検討した後、15 地区ごとに多様な主体(町会・自治会・社会福祉協議会・市民活動団体・企業他)が参加する実行委員会を立ち上げ、誰もが参加でき市や地域の情報が得られる居場所づくりを検討しました。
- ・「ゆるやかにつながる・多世代が活用できる居場所」が住民の皆さんのきっかけとなり、そこでできた住民間の縁をつないでもらうことが目的です。課題のある方がいたら、他機関につなぐなどといったことも想定しています。

◆「地域づくりを考えていたら、気づいたら、そこに福祉が盛り込まれていた」がよいのではないのでしょうか。

- ・まずは知り合う、気かけ合う関係が大切。正しいか正しくないかだけでない。正解がないからこそ、可能性があるのではないかと思います。

報告 2. サービス付き高齢者向け住宅における地域連携 松戸市との取り組み

報告 生活協同組合パルシステム千葉 介護事業部 部長 木村友秀さん

◆生協が出すぎない、主役は地域の方たちです。

- ・「多世代まるごと居場所づくり」事業の六実六高台地区の実行委員会に参画し、サービス付き高齢者向け住宅「にじいろばる松戸六実 地域交流室」で、巡回型居場所として認知症予防体操を開催しました。
- ・実行委員会では、その場を担う方たちを支援する立ち位置だということを中心にしています。これまで先行して取り組まれている方たちの関係性や状況を大切に、配慮しています。私たちが課題解決に役立つためには、地域の一員として取り組む必要があることを実感しています。



報告を聞いた後、グループ交流をおこない、「地域共生社会」を考える上で一番大切にしたいことは何かを出し合いました。

大切にしたいこと・キーワード

- ・つながりを大切にする（行政、地域、社協、これからの組合員、他の団体…）
- ・多様なつながりの再認識と創出
- ・双方向の関わり
- ・知って気付く
- ・結果を恐れず、とりあえず行動してみる
- ・受け入れる、参加してみる



参加者の感想

- ・地域社会の中での共生を考えるきっかけとなりました。人と人、地域がつながる重要さは自分事として、生協として、一人一人が意識することが大切であると思いました。
- ・サービス付き高齢者向け住宅における地域と連携した取り組みがすばらしく、参考になりました。
- ・地域共生社会は、お互いが寄り添って協力し合うことが大切だと感じました。
- ・他生協や行政の方と交流できたことで、視野の広い意見交換ができ有意義な話し合いの場となりました。横のつながりを大切に活動に活かしたいです。